

令和5年度茅ヶ崎市国民健康保険事業特別会計 ～当初予算(案)のポイント～

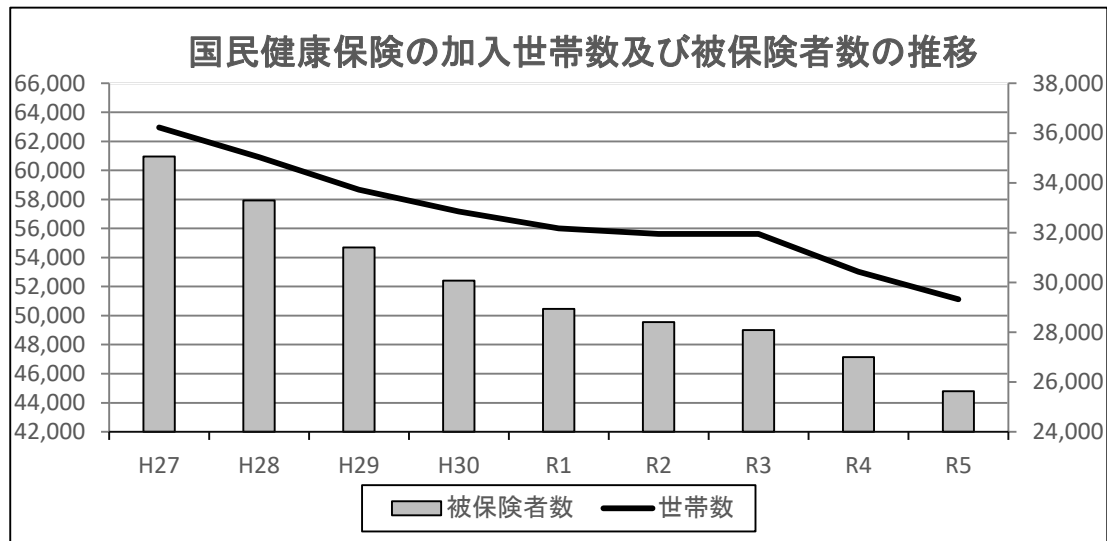
1 国民健康保険の加入者の状況と見込み

(1) 被保険者数の減少

被保険者数は、高齢化の進行による後期高齢者医療制度への移行者の高止まり等により、減少傾向となっています。令和3年度の平均被保険者数は49,002人でしたが、令和5年度においては44,801人程度となるものと見込んでいます。

(2) 世帯数の減少

加入世帯数は、被保険者数の減少と同様で、引き続き、減少傾向にあると見込んでいます。令和3年度の平均加入世帯数は31,949世帯でしたが、令和5年度においては29,322世帯程度となるものと見込んでいます。



2 歳入予算の状況

国民健康保険料算定の基礎となる国民健康保険事業費納付金が増額したこと、被保険者数及び世帯数が大幅に減少するものの、保険料率の急激な上昇を抑制するために基金から430百万円の繰り入れを予定するとともに、国民健康保険料を前年度3.57%増の約5,218百万円としました。また、法定外のその他一般会計繰入金は、約108百万円を計上しましたが、「赤字補填」のための繰入金ではありません。

	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	伸び率
国民健康保険料	5,218百万円	5,038百万円	3.57%
その他一般会計繰入金	108百万円	111百万円	△3.09%
国民健康保険運営基金繰入金	430百万円	300百万円	43.33%

3 歳出予算の状況

総務費については、最低賃金の変更や、隔年度の保険証の一斉更新にともなう予算を計上したことから、前年度1.84%増の約351百万円を計上しました。

保険給付費については、被保険者数は減少傾向を見込んでいますが、保険給付費は近年の医療の高度化により保険給付費が増加傾向であることを勘案し、前年度0.70%減の15,420百万円を見込みました。

また、全県の国民健康保険運営のために県へ支払う国民健康保険事業費納付金は、前年度5.35%増の約6,901百万円となりました。

	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	伸び率
総務費	351百万円	344百万円	1.84%
保険給付費	15,420百万円	15,529百万円	△0.70%
国民健康保険事業費納付金	6,901百万円	6,550百万円	5.35%

(参考) 一人当たり保険給付費の推移

高齢化の進展や医療の高度化の影響により、一人当たり保険給付費は増加傾向で推移しています。令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大による受診控えの反動を主な要因として、保険給付費の増加幅が顕著であったため、一人当たり保険給付費は増加となりました。

特殊事情により、一人当たり保険給付費の推計が困難であるところですが、令和5年度は、引き続き増加傾向と推計し、約34万円程度となるものと見込んでいます。

